

R.5 1月実施

5名対象(内訳 児童発達支援管理責任者:1名/児童指導員:3名/公認心理師:1名)

※8、13、16、21、33、の項目については児童発達支援管理責任者の業務である為、児童指導員、公認心理師の回答無し

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が多いと狭く感じる事もある。 ・中高生時間、テスト前等利用人数が多い時に狭く感じる時がある。 ・子どもの人数次第で、プレイルームが狭く感じる時がある。 ・スペースを確保出来るよう、外活動と室内活動を分ける等している。 ・通常は問題無いが、試験前の中高生は部屋から溢れている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数が多い時、スタッフが足りなく感じる時がある。 ・しっかり一人ひとり寄り添う事が出来る人数となっている。 ・もう少し正社員が増えたら余裕が生まれると思う。
	3	事業所内の支援環境について、利用児童にとって構造化され、過ごしやすい環境となっているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所、給湯室、トイレの張り紙を変え、改めてその場所の在り方に気付けるようにした。 ・目的別に部屋を分ける等の工夫をしている。 ・学習室、プレイルームが分かれている為、子どもにとって分かりやすいと思う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティングの中で行うと共に、パートやアルバイトにも周知している。 ・全員参加のミーティングで実施している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートだけでなく、送迎時の会話の中でも把握に繋げる事が出来ている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたより、ホームページだけでなく、Facebookにも投稿している。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の事業所内研修や各スタッフに合った事業所外研修に参加している。 ・事業所内外問わず、研修の場は多い。 ・事業所内研修、外部研修共に実施されている。
適切な 支援の 提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に細かいアセスメントを行ったり、見学時にも子どもの課題や目標を聞き、計画作成に当たっている。
	9	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時以外のアセスメントツールは無いが、眼の見え方の確認等を行っている。 ・アセスメントシート等は標準化されている。また、事業所内にある遊び道具を通して、特性等を見ている。 ・標準化された検査や尺度による結果(外部機関にて実施)を基にアセスメントを行う。必要に応じて個人的に使用する事もある。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等で話し合っている。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・平日は子どもの状態に合わせてながら活動提供を行っている。 ・活動内容が同じ場合でも、その日の利用児の事を考え、活動設定を行う。

適切な支援の提供	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特に長期休暇は季節に応じた活動、イベントを企画している。 ・中高生土曜日支援はタイムスケジュールを組んで学習に取り組む事で、気持ちの切り替えを促している。 ・それぞれの日程でしか出来ない活動等を設定している。
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性や課題に焦点を当て、個別、集団でのサポートについて考え、計画を立てている。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のミーティングで行い、スタッフの適性、どの児童と合うか、合わないかをそれぞれのスタッフが把握している。 ・支援開始前にミーティングを行っている。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットやケース会議等、支援の改善点を見つけ、安全に過ごせるよう工夫している。 ・細かい出来事も特記事項に記載する。
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず半年毎のモニタリングを行い、保護者面談を行っている。
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0	
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でもあり、なかなか担当者会議が行われなかったが、開催された時には児童発達支援管理責任者が主に出席した。 ・コロナ禍の為、参加する機会が無かった。 ・児童発達支援管理責任者だけでなく、関わりの深いスタッフも会議に参加する事もある。
関係機関や保護者との連携	19	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その場で連絡が取れるようツールもしっかりしている。また、報告のルートもそれぞれが把握している。
	20	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	—	—	—	
	21	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供は無かったが、就労支援事業所に保護者や本人と共に行き、サポートを行った。
	22	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月14日(土)に性教育について、専門機関からの研修を受けた。 ・児童発達支援管理責任者がしっかりとしたコネクションを作っている。 ・相談支援事業所を立ち上げた方、大学教授、看護師等、専門的立場からの研修や事例による助言を頂いている。
	23	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・外活動(公園等)では、公園に来ている他児らと一緒に遊ぶ等している。 ・コロナウイルスの影響か、地域の公園利用者が減っており、事業所内部の児童との活動が大部分になっている。
	24	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎子ども部会の中で、他放課後等デイサービスとの情報交換を適宜行っている。 ・参加する立場に無い。
	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時での会話(小学生)、連絡帳、中高生は主にLINEで伝える。

保護者への説明責任等	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・押しつけにならないよう、提案の形で自分の考えを伝えている。 ・ペアトレを研修形式で行っている訳では無いが、個々の問題に対して日々のやり取りの中でペアトレと同じような働きかけを行っている。
	27	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に必ず行っており、質問を受けた時には適宜対応している。 ・説明不足による不満やクレームは受けたことが無い。 ・説明する機会が無い。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	
	29	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	—	—	—	
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情は無いが、ご意見やご要望があった時には速やかに対応している。 ・スタッフ間で共有し、対応策を考えている。個人的な苦情が主な為、他の児童や保護者に周知する所まではしていない。
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月おたよりにて刊行している。
32	個人情報に十分注意しているか	4	1	0		
非常時等の対応	33	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に配布しており、マニュアル改定時にはスタッフ間で確認を行っている。
	34	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回行っており、その内1回は消防署立ち合い訓練を行っている。 ・年2回避難訓練を行っている。 ・小学生支援時、中学生支援時、各々実施している。 ・訓練は長期休暇に必ず行うようにしている。 ・災害を想定した避難訓練を行っている。
	35	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回、事業所内研修を行っている。 ・個人によって遊びの延長であるか否かの線引きが違う為、自分の認識は虐待に当たるのか逐次確認する必要がある。
	36	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	—	—	—	
	37	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・医師からの指示書は無いが、保護者から服薬依頼書を頂き、それに基づいて対応している。 ・アレルギーが含まれていないおやつを準備している。 ・おにぎり等はその日の児童を確認後、ふりかけを選ぶようにしている。
	38	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットがあったその日や翌日に必ず共有している。